

## TOPICS

## 平成 15 年 10 月 1 日現在の奈良県の人口は 143 万 4,576 人で前年比 0.21% のマイナス

奈良県が発表した「奈良県推計人口年報」によると、平成 15 年 10 月 1 日現在の奈良県の人口は 143 万 4,576 人で、平成 14 年 10 月 1 日より 3,035 人減って前年比では 0.21% のマイナスとなった。

3,035 人の内訳をみると、自然増加（出生－死亡）は 1,252 人（増加率：0.09%）、社会増加（転入－転出）は▲4,212 人（増加率：▲0.29%）となった（別途：外国人▲75 人）。

## ■人口総数

平成 15 年 10 月 1 日現在（以下、今回調査）の奈良県の人口は 143 万 4,576 人で平成 14 年 10 月 1 日現在（以下、前回調査）より 3,035 人減って前年比では 0.21% のマイナスとなった。

※人口は平成 12 年国勢調査確定値を基礎として、各市町村に届出された出生・死亡・転入・転出等の数を加減して推計したもの。

人口の分布状況を市町村別にみると、市部が 103 万 9,095 人、郡部が 39 万 5,481 人で市部が全体の 72.4% を占めている。

人口規模の上位は、奈良市、橿原市、生駒市、大和郡山市、天理市、香芝市の順である。

過去 10 年間の推移をみると、4 位までの順位は変わらないが、5 位は前回調査までの大和高田市から天理市へと入れ替わった。

市町村別人口順位

順位		平成15年10月1日 人口（人）	対前年比 増加率 （%）
1	奈良市	365,075	0.02
2	橿原市	125,581	▲0.04
3	生駒市	112,889	▲0.21
4	大和郡山市	93,325	▲0.14
5	天理市	72,024	▲0.33
6	香芝市	68,622	2.74

また、香芝市に注目すると、香芝市は他の多くの市町村の人口が減少しているなかで着実に増加し続けている。

香芝市の人口は 68,622 人（今回調査：順位 6 位）であり、10 年前の平成 5 年 10 月 1 日（55,159

人：順位 8 位）から 10 年間で約 13,500 人増加している。

このままいけば 2 年後には天理市を抜き第 5 位になる勢いである。

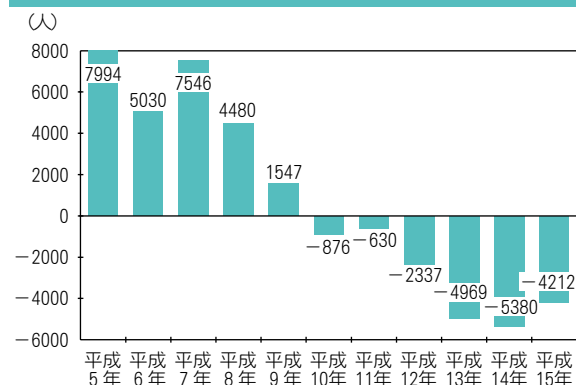
## ■人口動態

県全体での年間の減少数▲3,035 人の内訳をみると、出生から死亡を引いた「自然増加」が 1,252 人で増加率は 0.09%、転入から転出を引いた「社会増加」は▲4,212 人で、増加率は▲0.29% となり、社会増加でのマイナスが目立っている。

前回調査と比較すると、増加率は前回調査の▲0.23% に対し今回調査の▲0.21% とさほど変わらないが、今回調査の場合は、「自然増加」が激減した一方で、「社会増加」が前回調査を下回る減少幅となったことから、前回調査並の減少に留まった。

過去 10 年間における奈良県の社会増加の推移をみたものが以下のグラフであるが、奈良県の「社会増加」は平成 9 年まで増えていたが、平成 10 年以降は減少に転じている。

社会増加の推移



## ■市町村別人口増減

市町村別にこの1年間の人口増減をみると、トップは香芝市、ラストは大和高田市である。なお、上位5位、下位5位は下表のとおりである。

人口増減数の主な市町村順位

順位	市町村名	増加数(人)	順位	市町村名	増加数(人)
1	香芝市	1,833	43	吉野町	▲305
2	広陵町	284	44	桜井市	▲361
3	上牧町	66	45	五條市	▲392
4	奈良市	59	46	御所市	▲449
5	新庄町	55	47	大和高田市	▲878

次に「社会増加」によるこの1年間の増減をみると、「社会増加」で人口が増加したのは47市町村のうち8市町村(1市5町2村)で他の39市町村は減少している。

市町村別の上位5位、下位5位は下表のとおりである。

「社会増加」による人口増加数の主な市町村順位

順位	市町村名	増加数(人)	順位	市町村名	増加数(人)
1	香芝市	1,343	43	天理市	▲355
2	広陵町	203	44	橿原市	▲438
3	新庄町	58	45	生駒市	▲565
4	高取町	36	46	奈良市	▲622
5	上牧町	20	47	大和高田市	▲889

両者を比較すると香芝市、広陵町、大和高田市は順位が変わらず、増減の主因は「社会増加」にあることがわかる。

奈良市は「社会増加」が▲622と大きくマイナスである一方で「自然増加」が多くなっている。

## ■社会増加の要因分析

社会増加による順位の1位、46位、47位である香芝市、奈良市、大和高田市について、「県内からの転入」「県外からの転入」「県内への転出」「県外への転出」の4項目の増減要因分析を行ったところ次のような結果となった。

### 「社会増加」の増減要因分析

1位：香芝市(単位：人)		
合計増加数	転入計	転出計
1,343	4,142	2,799
県内差引	県内からの転入	県内への転出
649	1,877	1,228
	大和高田市：372 橿原市：258 広陵町：189	大和高田市：180 橿原市：128 奈良市：102
県外差引	県外からの転入	県外への転出
694	2,265	1,571
	大阪府：1,392 兵庫県：159	大阪府：712 兵庫県：123

県内の移動では、大和高田市や橿原市など中南和主要都市からの転入が多い。県外からも転入が転出を大きく上回る。特に大阪府(1,392)からの転入が多い。

46位：奈良市(単位：人)		
合計増加数	転入計	転出計
▲622	14,869	15,491
県内差引	県内からの転入	県内への転出
469	3,746	3,277
	生駒市：971 大和郡山市：747 天理市：443	生駒市：910 大和郡山市：659 天理市：348
県外差引	県外からの転入	県外への転出
▲1,091	11,123	12,214
	大阪府：3,507 京都府：1,453	大阪府：3,055 京都府：2,068

県内の移動では、転入が転出を上回るが、県外の移動では逆に転出が転入を大きく上回る。特に京都府(2,068)への転出が目立っている。

47位：大和高田市(単位：人)		
合計増加数	転入計	転出計
▲889	2,597	3,486
県内差引	県内からの転入	県内への転出
▲457	1,433	1,890
	橿原市：290 香芝市：180 広陵町：126	橿原市：382 香芝市：372 奈良市：102
県外差引	県外からの転入	県外への転出
▲432	1,164	1,596
	大阪府：520 兵庫県：106	大阪府：654 兵庫県：111

県内外とも転出が転入を大きく上回り、総数では▲889と47市町村中最大の減少数となった。県内では香芝市、県外では大阪府への転出が目立つ。

※県内差引：「県内からの転入」－「県内への転出」  
県外差引：「県外からの転入」－「県外への転出」

- 奈良県は、過去には大阪を中心にした他府県からの転入者が多く、人口増加率で全国トップ水準を誇っていた。しかしながら最近では増加率がマイナスに転じ、順位も中位に甘んじており、唯一香芝市だけが着実に人口増加している。